



自衛隊新潟地方協力本部

ミサイル艇「うみたか」艦艇広報



新潟地本（本部長 1陸佐 村岡史朗）は5月31日（土）・6月1日（日）の両日、柏崎港においてミサイル艇「うみたか」（艇長 3海佐 西川威一郎）の艦艇広報を実施した。

海上自衛隊第2ミサイル艇隊所属のうみたかは、最大速度44ノット（約80km/h）を誇る高い機動性や即応性及び打撃力に優れた小型高速艇で、新潟に寄港するのは2年ぶりである。

両日とも募集対象者やその家族、自治体職員などに向けた特別公開と、会場に来場した見学希望者に向けた一般公開を行った。来場者は2日間合わせて約2,200人に上り、雨模様で肌寒い生憎の天気であったが、終日待機列が途切れることなく大盛況であった。

乗艇を待つ間、乗組員による「ラッパ吹奏」や、艦艇同士で使用される伝統的な通信手段のひとつである手旗信号、モールス信号とも呼ばれる発光信号の披露も行われ、来場者の注目を集めた。他にも、柏崎市上空に敵の飛行機が侵入したという想定で行われた主砲操法展示では、艇長自ら指揮を執り、レーダーで敵を感知しその方向へ素早く向きを変える主砲の動きに驚きの声が上がった。来場者は皆真剣な表情で展示を見守り、艇長から「柏崎上空の安全が守られました。」とアナウンスがあると、見学していた来場者から大きな拍手が起こった。来場者は「手旗信号を目の前で見ました。旗を素早くピシッと振る姿がとてもカッコよくて印象的でした。」などと、感想を語った。

新潟地本は、「今後も艦艇広報を通じ、自衛隊に対する理解を深め志願者獲得に繋げていきたい」としている。

